

「すてきナース」

伊 吹 美 奈

あなたの夢は自分のための夢ですか。それとも他の誰かを想った夢ですか。私は自分のためと思っていたこの夢を叶えたい理由が、今回の講演を通して夢が叶えば誰か他の人の役に立ちたいと強く思いました。今日までの私は、なりたいという気持ちがあいまいかつ明確でないまま、なんとなく看護師になりたいと言っていました。その時の気持ちを正直に話すと、文系より理系が少し得意で、単純にこの仕事に就くことができれば、安定した収入を生涯得られ、そして社会の中で必要とされる存在として生きていけると思ったからです。ある先生には、こんな不純な動機では無理だと否定され、また別の人には性格的に向いていても、後々しんどくならないかと心配されました。

しかし、今回の SYD の講演を聞いて、全く異なる理由を持つようになりました。一つ目は、私たちが当たり前に思っていることを貧しい国の人々は夢と語り、一日を大切に生きて、小さな幸せに笑みをこぼしている光景に胸を打たれ、私に何ができることはないかと思ったからです。二つ目は、豊かな日本に比べ、貧しい地域にはこんなにも医療の手が回っていないことを写真や映像を見せてもらい、現実的なものとして理解させられたからです。三つめは、貧しい人々のために全てを捧げたマザーテレサが日本人女性に言った言葉を聞いたときに、その言葉に感動したからです。テレサはこう言います。カルカタへ来て私たちと同じように生涯をか

けて貧しい人たちの為に活動したいというお気持ちがあるのなら、それはあなたの国で行うべきです。あなたの国には貧しい人や困った人がいないのですか。あなたの隣人をまず助けなさい。あなたのそばであなたの助けを待っている人がいるはずですよ。こう言われた日本人女性のように、私は日本での仕事や地位を全て捨ててまで、カルカタという異国の地へ旅立つという決断は今も、そしてこの先もできるかと言われれば自信はありません。高校生だからこそ、その言葉の重みがわかる気がします。しかし、貧しい人々や困っている人々を助けるためにできることは、そんなに遠くを目を凝らして見つめなくても、私たちの身近でも行えるということ。テレサは教えてくれました。

私の身近でも困っている人はいると思います。私にとって身近な人であり、お世話になってお母さん、そんなお母さんが誇りに思える存在になり、日本で困っている人を医療の面からサポートしたいと強く思いました。テレサは看護師ではありません。しかし、テレサの生き方や考え方は医療の面でも大切なことだと思います。

医療技術は年を経るごとに進化しています。そんな医療の手が世界中の人々を包み込めるくらい大きければもっと多くの人々が健康に毎日を過ごすことができるでしょう。今ならばはっきり言えます。私の夢は遠くばかり見つめるだけの看護師ではなく、目の前のことに人一倍気を遣い、最善を尽くせるステキな看護師になりたいです。